



一般質問

6月10日～12日の三日間、18人の一般質問がありました。

連日、傍聴席が満席になるほど多数の方から傍聴いただきました。三日間で185人の傍聴の受付がありました。

一人60分の持ち時間の中で、質問と答弁のやり取りが続きますが、紙面の関係で、質問と答弁の要旨を質問順に掲載してあります。

山崎正春議員

副市長の設置について

質問 三月議会で市長は、県職員を選任したいとの答弁であったが、いまだ選任されていない。

答弁 山積する諸問題を解決するためには、市長一人では限度がある。いつ頃を目標として任命するかを伺う。

質問 副市長については、条例に基づき1名を任命したい。昨年11月下旬県の人事当局に、人事異動に合わせて県職員の派遣を申請したが、本年3月に入ってから、突如、現職の派遣は困難との連絡があった。

答弁 そのため県職OBに人材を求めるところとし、現在取り組んでいるところである。

質問 県の現職が断られれば、なぜ県職OBなのか、当市の現状を良く認識していないOBを選任するのであれば、当市の実情を良く理解・認識している市役所OBと

宮脇雅夫議員

地域医療と郷病院について

質問 阿賀野市管内の救急搬送率は30・9%で、県内ワースト1。平均搬送時間も39・4分と、助かる命も助からない地域になっている。また、軽症患者の夜間診療体制も未確立である。

答弁 今後、郷病院の救急医療体制の整備をすすめるとしても、「コンビニ病院」の復活はできない。市の地域医療体制をどう構築するのかが伺う。

質問 県、医師会との調整会議を設置するなど、病院と診療所（開業医）との役割分担を明確化しながら、救急医療体制の整備を図っていく。

答弁 郷病院の公設民営化方針による厚生連との交渉の進捗状況はどうか。

質問 公設民営化後の事業計画、収支予算案の提出を厚生連に求めているが、クリアしなければならぬ課題があり、いままじの時間が必要。

遠藤智子議員

障害者の自立と社会参画を支える環境整備について

質問 県立養護学校駒林分校が、小学部、中学部、高等部合わせて30名の児童生徒と25名の職員体制でスタートがなされたが、3年後の高等部卒業時の進路決定にともない、市内の通所授産施設等への入所希望者も予想されるが、現施設の定員状況と今後の対応について伺う。

答弁 阿賀野市には、四カ所の通所授産施設や小規模作業所があり、合計定員が105人で現在97人が通所している。施設によっては定員割れも生じている。通所申し込み多数で定員をオーバーする事態の時は、施設基準の見直し（定員増）で対応可能と考えている。また市内の通所授産施設から特別支援学校卒業後すぐに一般就労が難しい方々を支援する「自立訓練サービズ」が盛り込まれた、移転

質問 職員を厚生連が雇用する際は、厚生連の給与規定によるとしていますが、これまで平均12%削減後の給与水準は保証されるのか。

答弁 「再雇用後の給与待遇は原則、厚生連規定による」とされている。

質問 厚生連の計画要員から外れた職員の処遇について、どのように対応するつもりか。

岡部直史議員
生活密着型の公共事業で地域経済の活性化を
質問 大型開発事業や、借金をして新規事業をやるより『維持・補修型』『生活環境・教育・福祉・防災型』の公共事業が、中小建設業者の仕事確保、就労の確保につながる。そのことにより、地域に持続的な経済波及効果が創出でき

答弁 地域から道路側溝、排水路等身近な要望が寄せられている。緊急経済対策として4億9千9百万円が国より交付となり、使い道については地域の就労確保・波及効果を第一に、維持・補修事業、生活・教育事業等に優先配分し、地元業者の受注機会確保に努める。

その他の質問
○ゆきとどいた教育のために補助教員、介助員の増員を
○不登校児童生徒への対策

水原郷病院の公設民営化について
質問 「経営改善による財政負担の軽減」と市民の悲願である「救急医療の復活」という懸案事項についてどう考えているのか。
答弁 厚生連のノウハウを最大限生かしていただくことにより、経営改善を期待している。「救急医療の復活」は医師の確保が最大の条件となる。改善するよう厚生連に求めていく。

「福祉の道の駅」中止について
質問 「福祉の道の駅」事業の中止は、市長の重点公約であり、中止は決定済みで、復活はありえないと認識しているがどうか。3月議会で答弁している「リセット」の課題と進捗状況を伺う。
答弁 私は、この事業中止を公約に掲げ、多くの市民から支持を得たので、「事業の中止は決定済みで、復活はありえない」と考えている。

「福祉の道の駅」中止について
質問 この事業を中止し、交流エリアとして再構築したいと考えているが、事業の中止について、議会や地権者の理解がまだ得られていないので、リセットできない状況にあり、大きな課題になっている。

「福祉の道の駅」中止について
質問 「福祉の道の駅」事業の中止は、市長の重点公約であり、中止は決定済みで、復活はありえないと認識しているがどうか。3月議会で答弁している「リセット」の課題と進捗状況を伺う。
答弁 私は、この事業中止を公約に掲げ、多くの市民から支持を得たので、「事業の中止は決定済みで、復活はありえない」と考えている。

